



鮎川純太 JYUNTA AYUKAWA 【令和リカレント & society5.0教育・探求学習循環社会実行委員長】

スペース・オブ・ファイブ株式会社 相談役 公益財団法人日産厚生会 理事 一般財団法人全国中小企業共済財団 理事 日本MIT会 評議員
1960年 米国マサチューセッツ州ボストン出身。公認会計士辻会計事務所(現辻本郷税理士法人)、マサチューセッツ工科大学大学院ス
ローン・スクール・オブ・マネジメントを経て、山一証券入社。同社企業開発部にて国内外企業のM&Aを担当する。1992年、1941年創業
のベンチャーキャピタル、テクノベンチャー(旧満州投資証券・元中小企業助成銀行)入社。同社代表取締役として現在に至る。
1992年から13年間、フェノックス・ベンチャーキャピタルとも密接な関係にあるシリコンバレーのベンチャーキャピタル、クライナー・
パーキンス・コーフィールド・アンド・バイヤーズ(KPCB)にて日本人唯一のスペシャル・リミット・パートナー(アル・ゴア元米副大統領
は現在同社のスペシャル・リミット・パートナー)を務める。1999年よりベンチャーキャピタル業務の他、上場企業6社に出資。代表取締
役、取締役や監査役等に各2年間就任し、プライベートエクイティ業務も行う。



四十万靖 YASUSHI SHIJIMA 【ビジネスモデルライセンサー・コンテンツプロバイダー】

1959年生まれ。一般社団法人四十万未来研究所代表理事・スペース・オブ・ファイブ株式会社代表取締役
1982年慶應義塾大学経済学部卒業、伊藤忠商事入社。建築建材、日米構造協議、ライセンス&サブライセンス 地方創生事業を担う。慶應
義塾大学、武蔵野美術大学、女子美術大学、東京大学にて産学連携事業実績多数。2006年に上梓した「頭のよい子が育つ家、ベストセラー。
リビング学習提唱者、空間とコミュニケーション研究の第一人者。文部科学省2019年度「専修学校リカレント教育総合推進」プロジェクト

●一言メッセージ
自分のこども、孫に説明できない事は致しません！



浅見泰司 YASUSHI ASAMI 【都市計画・教育全般】

Ph.D. 東京大学大学院工学系研究科教授
ペンシルヴァニア大学博士課程修了、人口減少社会における都市政策のあり方、不動産市場の分析、空間情報解析などの研究
に従事。最近の共編著に、『不動産テックを考える』、『マンションの終活を考える』などがある。

●一言メッセージ
努力は進歩に通じ、進歩は夢に通じる。



松岡拓公雄 TAKEO MATSUOKA 【建築設計・教育全般】

建築家 亜細亜大学都市創造学部長 建築学校松岡拓公雄 4年2組主宰
1952年うまれ1978年東京芸術大学美術学部建築学科大学院卒業、丹下健三都市建築設計研究所入所、ヨルダン・ヤルムーク大学、
ナポリ新都心計画、ナイジェリア新首都計画、OUB銀行本社ビルなど海外での実績多数。1986年主任建築家として東京都新都庁舎コン
ペ担当、一等当選後同研究所退所。1986年アーキテクトファイブ設立・共同主宰代表建築家、日本建築学会賞業績賞、グッドデザイン大賞、
建築業協会賞等多数

●一言メッセージ
日本の歴史風土で熟成した「家」の知恵は子供を家族を世界を幸せにできる力があります。



海老原良典 YOSHINAORI EBIHARA 【健康・医療全般】

医学博士 松翁会診療所長兼松翁会大手町健康プラザ長
WHO高齢者QOL作成委員、慶應義塾大学医学部卒業、慶應義塾大学病院老年内科で長年高齢者の健康推進に寄与。高齢者の最適環境に関し、
慶應義塾大学、建築家との共同研究結果、POL=HPD+QOLの概念を構築。高齢者向住環境・建材の専門家

●一言メッセージ
今わかっているエビデンスをもとに住み良く体に害の少ない住宅を考えていきましょう。

**林秀明 HIDEAKI HAYASI 【自治体行政・図書館経営】**

元神奈川県立図書館館長 1952年生まれ。横浜国立大学経済学部卒業、筑波大学大学院経営政策科学研究科修了。76年神奈川県庁入庁、県立図書館情報システムの予算化、京浜臨海部の再編整備構想、介護保険導入時の高齢者保健福祉計画等を担当。県土整備局で参事監（神奈川県住宅供給公社理事）で公社民営化を担当。県立図書館館長（「神奈川県立図書館は専門図書館を目指す」（『図書館雑誌』vol106.5））を経て12年退職。現在、図書館問題研究会、全国委員。

●一言メッセージ

場としての図書館の再構築、子どもの読書環境の再構築を一緒に。

**杉山久哉 HISAYA SUGIYAMA 【海外連携・SDGs & 空間工学理論技術認証者】**

米国建築家（株）クインシースタジオ代表取締役 明治大学講師、国士舘大学講師

1989年ハーバード大学建築大学院修士、（社団）アメリカ建築家協会日本支部代表理事（2011-12）

テンプル大学教育センター計画（プレスクール、インターナショナルスクール、大学）主任ディレクター、中小企業庁商店街支援センター採択プロジェクト（島根県浜田、埼玉県秩父）、復興庁再開発プロジェクト提案（大船渡、石巻）、東京大学まちづくり大学院地方都市再生支援プロジェクトチームとして日本初のMIPIMアワード（高松、山口、長浜、沼津）

●一言メッセージ

安心して家族と共に育つ場が子どもの発達にどのように関わるか興味ありませんか。

**武田隆 TAKASHI TAKEDA 【マーケティングDX】**

DoubleVerify Japan株式会社代表取締役 日本法人代表

大学卒業後、一貫して広告業界にてマーケティング活動に従事。レオバーネット、マッキンゼーエリクソン、JWT等グローバルネットワークエージェンシーにてP&G、Nestle (KitKat)、Nike、Ford等のグローバルブランドを担当後、2007年より2011年までオムニコムグループ、DDB Japanの社長をつとめる。2012年に営業本部長としてGoogle Japanに入社、主に一般消費財（CPG）業界、自動車業界、エレクトロニクス業界を含むブランディング業界担当執行役員を務め、その後データドリブンクリエイティブおよび幅広い業界とGoogleとのパートナーシップを推進するPartnerPlex Tokyo担当執行役員を務める。2020年4月に、DoubleVerify Japan株式会社 代表取締役 日本法人代表に就任、世界最高水準のアドベリフィケーションテクノロジーを有するDoubleVerifyのサービスの日本での提供を開始した。

ボランティアとして2014年よりマーケティング効果性アワードの世界最高峰、Effie Awards のアジアパシフィックコミッティーメンバー。